

工事成績採点の審査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目に1を入力する。

(解体・監督員用)

審査項目	細別	a□	b□	c□	d□	e□	
1. 施工体制	I. 施工体制一般	施工体制が優れている。	施工体制が良好である。	施工体制が適切である。	施工体制がやや不適切である。	施工体制が不適切である。	
		該当	評価	「評価対象項目」			評価
				□ 施工計画書等が工事着手前に提出され、所定の項目が記載されているとともに、設計図書の内容及び現場条件等が反映されたものとなっている。			□ 施工体制が不備であり、工事監督員から文書による改善指示を行った。  上記1項目該当事項があれば・・・e
				□ 作業の分担範囲が、下請業者を含め、施工計画書で明確に確認できる。(全工事適用)			
				□ 安全管理体制が、書面に適切に記載されている。			
				□ 現場の施工体制(品質管理、安全管理を含む)が、書面と一致している。			
				□ 工事規模に応じた人員、機械配置がなされ施行している。			
				□ 施工体制台帳、施工体系図が整備され、施工体系図は現場に掲げられている。			
				□ 建設業許可標識、法令その他必要な標識を公衆の見やすい場所に掲示している。			
				□ 社内検査の時期、確認事項が工事全般にわたり良く把握されている。			
				□ 工事カルテの登録が監督員の確認を受けた上で契約後10日以内に行われている。(5百万円以上)			
				□ 建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律による関係書類等が整備されている。			
				□ 「施工プロセス」のチェックリストのうち、施行体制一般について指示事項が無い。または指示事項に対する改善が速やかに実施されている。			
				□ その他( )			
				該当項目の内達成項目が90%以上…………… a			
		該当項目の内達成項目が80%～90%未満…………… b					
		該当項目の内達成項目が60%～80%未満…………… c					
	評価率	該当項目の内達成項目が60%未満…………… d					
	評 定	※評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。					
	点 数						

工事成績採点の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目に1を入力する。

(解体・監督員用)

考査項目	細別	a□	b□	c□	d□	e□		
1. 施工体制	Ⅱ. 配置技術者 (現場代理人等)	配置技術者として優れている。		配置技術者として良好である。	配置技術者として適切である。	配置技術者としてやや不適切である。	技術者の配置が不備である。	
		該当	評価	「評価対象項目」			評価	
				□ 現場代理人として常駐し、工事全体の把握ができています。			□ 現場代理人等の技術者が不備で、工事監督員から文書により改善指示を行った。	
				□ 現場代理人として、監督職員への報告、協議等を書面で行っている。				
				□ 契約書、設計図書等を理解し、現場に反映して工事を行っている。				
				□ 書類及び資料が適切に整理されている。				□ 建設業法第26条の2に定める専門技術者を配置していない。
				□ 作業環境、気象、地質条件等の把握及び対応に努めている。				
				□ 作業に必要な作業主任者を選任し、配置している。				
				□ 設計図書の照査が十分で現場との相違があった場合は適切に対応している。				上記1項目該当事項があれば・・・d
				□ 施工体制、施工状況を把握し、下請け、部下等を良く指導している。				
				□ 主任（監理）技術者として技術的判断に優れ、良好な施工に努めている。				
				□ 施工等に伴う提案または工夫をもって工事を進めている。				
				□ 当該工事の作業内容に応じた技能士の活用が図られた。				
				□ その他（ ）				
		該当項目の内達成項目が90%以上…………… a						
		該当項目の内達成項目が80%～90%未満…………… b						
		該当項目の内達成項目が60%～80%未満…………… c						
		該当項目の内達成項目が60%未満…………… d						
	評価率							
	評 定	※評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。						
	点 数							
					上記2項目該当事項があれば・・・e			

工事成績採点の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目に1を入力する。

(解体・監督員用)

考査項目	細別	a□	b□	c□	d□	e□	
2. 施工状況	I. 施工管理	施工管理が優れている。	施工管理が良好である。	施工管理が適切である。	施工管理がやや不適切である。	施工管理が不適切である。	
		該当	評価	「評価対象項目」			評価
				<input type="checkbox"/> 契約書第17条に基づく設計図書の照査結果について、協議を行っている。			<input type="checkbox"/> 設計図書と適合しない箇所があり、文書による改造請求を行った。
				<input type="checkbox"/> 施工計画書が、工事着手前に提出されている。			<input type="checkbox"/> 施工計画書が工事着手前に提出されていない。
				<input type="checkbox"/> 計画内容に変更が生じた場合は、その都度当該工事着手前に変更計画書を提出している。			<input type="checkbox"/> 定められ工事材料の検査義務を怠り、破壊検査を行った。
				<input type="checkbox"/> 施工計画書が設計図書及び現場条件を反映した内容となっている。			<input type="checkbox"/> 契約図書に基づく施工上の義務につき、工事監督員から文書により改善指示を行った。
				<input type="checkbox"/> 工事打合せ書等の工事記録の整備が、適時に行われている。			
				<input type="checkbox"/> 施工計画書の記載内容と現場施工方法が、一致している。			
				<input type="checkbox"/> 工事機器材の調達計画及び搬入が適切で、管理されている。			
				<input type="checkbox"/> 一工程の段階確認・検査の報告が、適時に行われている。			
				<input type="checkbox"/> 現場内での整理整頓が、日常的に行われている。			
				<input type="checkbox"/> 立会確認の手続きが事前になされ、確認報告が適時に行われている。			
				<input type="checkbox"/> 工事記録の整備が適時的確になされている。			上記1項目該当事項があれば・・・d
				<input type="checkbox"/> 低騒音、低振動及び排出ガス対策型の建設機械及び車両を使用している。			2項目以上該当事項があれば・・・e
				<input type="checkbox"/> 建設廃棄物の処分及び建設副産物のリサイクルへの取組が、適切に行われている。			
		<input type="checkbox"/> 社内検査が計画的に行われている。					
		<input type="checkbox"/> 施工計画書と現場の施工体制が一致している。					
		<input type="checkbox"/> その他 ( )					
		該当項目の内達成項目が90%以上…………… a					
		該当項目の内達成項目が80%～90%未満…………… b					
		該当項目の内達成項目が60%～80%未満…………… c					
		該当項目の内達成項目が60%未満…………… d					
		※評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。					
		評価率					
		評 定					
		点 数					

工事成績採点の審査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目に1を入力する。

(解体・監督員用)

審査項目	細別	a□	b□	c□	d□	e□	
2. 施工状況	II. 工程管理	工程管理が優れている。		工程管理が良好である。	工程管理が適切である。	工程管理がやや不適切である。	工程管理が不適切である。
		該当	評価	「評価対象項目」			評価
				□ 実施工程表が工事着手前に提出されている。			□ 自主的な工程管理がなされず、工事監督員から文書による改善指示を行った。  上記1項目該当事項があれば・・・d
				□ 現場での工程管理を詳細工程表を用いて、日常的に把握している。			
				□ 工程のフォローアップを実施し、請負者の責による工程の遅れがない。			
				□ 工程に関する各種制約があるにもかかわらず、工期内にスムーズに作業を行っている。			
				□ 休日・代休の確保を行っている。			
				□ 請負者の責による夜間や休日の作業がない。			
				□ 他工事や関連工事と積極的に工程調整を行っている。			
				□ 工程表の内容が十分検討され、充実している。			
				□ 機械、人員等を現場の進捗の実績を基に変更するなど、工程の管理を行っている。			
				□ 近隣住民との調整を積極的に行い、円滑な工事進捗を行っている。			
				□ その他 ( )			
				該当項目の内達成項目が90%以上…………… a			□ 請負者の責により工期内に工事を完成させなかった。(但し、改善指示による場合を除く)  上記1項目該当事項があれば・・・e
				該当項目の内達成項目が80%～90%未満…………… b			
		該当項目の内達成項目が60%～80%未満…………… c					
評価率		該当項目の内達成項目が60%未満…………… d					
評 定		※評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。					
点 数							

工事成績採点の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目に1を入力する。

(解体・監督員用)

考査項目	細別	a□	b□	c□	d□	e□	
2. 施工状況	Ⅲ. 安全対策	安全対策が優れている。	安全対策が良好である。	安全対策が適切である。	安全対策がやや不適切である。	安全対策が不適切である。	
		該当	評価	「評価対象項目」			評価
				<input type="checkbox"/> 災害防止（工事安全）協議会等を設置し、1回/月以上活動し、記録が整備されている。			<input type="checkbox"/> 安全管理に関する現場管理または防災体制が不適切であり、工事監督員から文書による改善指示を行った。  上記1項目該当事項があれば・・・d  <input type="checkbox"/> 安全対策の不備により重大な災害等を受けた。  上記1項目該当事項があれば・・・e
				<input type="checkbox"/> 店社パトロールを1回/月以上実施し、記録が整備されている。			
				<input type="checkbox"/> 各種安全パトロールで指摘を受けた事項について、速やかに改善を図り、かつ関係者に是正指示している。			
				<input type="checkbox"/> 安全教育・安全訓練等を適時的切に実施し、記録が整備されている。			
				<input type="checkbox"/> 安全巡視、TBM、KY等を実施し、記録が整備している。			
				<input type="checkbox"/> 新規入場者教育を実施し、実施内容に現場の特性が反映され、記録が整備されている。			
				<input type="checkbox"/> 工事の各工程において適時適切に、安全管理の措置をしている。			
				<input type="checkbox"/> 重機操作に際して、誘導員配置や重機と人の行動範囲の分離措置がなされている。			
				<input type="checkbox"/> 山留め等について、設置後の点検及び管理がチェックリスト等を用いて実施されている。			
				<input type="checkbox"/> 仮設工事において、設置完了時や使用中の点検及び管理がチェックリスト等を用いて実施されている。			
				<input type="checkbox"/> 使用機械、工具等の点検整備等がなされ、十分に管理されている。			
				<input type="checkbox"/> 工事現場における保安施設等の整備・設置・管理が的確であり、良く整備されている。			
				<input type="checkbox"/> 過積載防止に十分に取り組んでいる。			
		<input type="checkbox"/> その他（ ）					
		該当項目の内達成項目が90%以上…………… a					
		該当項目の内達成項目が80%～90%未満…………… b					
		該当項目の内達成項目が60%～80%未満…………… c					
評価率		該当項目の内達成項目が60%未満…………… d					
評定		※評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。					
点数							

工事成績採点の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目に1を入力する。

(解体・監督員用)

考査項目	細別	a□	b□	c□	d□	e□					
2. 施工状況	IV. 対外関係	対外関係が優れている。		対外関係が良好である。		対外関係が適切である。		対外関係がやや不適切である。		対外関係が不適切である。	
		該当	評価	「評価対象項目」						評価	
				□ 工事施工にあたり、関係官公署等の関係機関と協議及び調整を行い、トラブルの発生がない。							□ 請負者の対応による苦情が多い。または対応が悪くトラブルがあった。
				□ 工事施工にあたり、地域住民（関係部署含む）と適切に協議及び調整を行っている。							□ 関係法令に違反する恐れがあったため、工事監督員から文書による指示を行った。
				□ 工事の目的及び内容を、工事看板などにより地域住民や通行者に分かりやすく周知している。							
				□ 近隣住民対策を実施し、苦情がない。または苦情に対して適切な対応を行い、以後のトラブルがない。							
				□ 現場のイメージアップに、取り組んでいる。							
				□ 関連工事との調整を行い、関連工事を含む工事全体の円滑な進捗に寄与している。							上記1項目該当事項があれば・・・d
				□ 「施工プロセス」のチェックリストのうち、施工体制一般について指示事項がない。または指示事項に対する改善が速やかに実施されている。							
				□ その他（ ）							
										□ 近隣住民等の対応が悪く、度々トラブルがあり、工事全体の進捗に支障が生じた。	
										上記1項目該当事項があれば・・・e	
				評価率	該当項目の内達成項目が90%以上…………… a						
		評 定	該当項目の内達成項目が80%～90%未満…………… b								
		点 数	該当項目の内達成項目が60%～80%未満…………… c								
			該当項目の内達成項目が60%未満…………… d								
			※評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。								